

防災・減災活動や 避難所運営における アサーティブ・ コミュニケーション



能登半島地震の被災地に派遣された内閣府男女共同参画局職員より、女性の視点に立った災害対応の状況をお伝えします

「炊き出しは毎食女性の役割？」

「乳幼児向けのミルクがほしい」

「生理用品の配布方法をみんなで考えたい」

こうした意見を誰もが率直に、対等に伝えられたらいいと思いませんか。防災・減災活動や避難所運営、さまざまな場面で**自分の意見を上手に伝えるヒント**を学びます。防災に関心のある女性、ぜひご参加ください！



日時 2024年 **3**月 **24**日（日）14：00～16：00

会場 世田谷区立男女共同参画センターらぷらす

講師 特定非営利活動法人アサーティブジャパン 講師 堀部三智子
内閣府男女共同参画局総務課 専門職 藤田昌子

対象 防災に関心のある女性

定員 30名

保育 5か月～就学前まで ※事前予約制、先着順

申込 2月1日（木）10：00から、電話・FAX、またはメールにて受け付けます。FAX・メールの際は、①電話番号 ②お住まい（区内／区外）③保育の有無 を明記してください。

当日のプログラム

1. 2024年能登半島地震・女性の視点に立った災害対応

講師：内閣府男女共同参画局総務課
専門職 藤田昌子

2024年1月1日の能登半島地震の被災地に派遣された内閣府男女共同参画局職員より、女性の視点に立った災害対応の状況をお伝えします。

2. アサーティブ・コミュニケーション講座

講師：特定非営利活動法人アサーティブジャパン
堀部三智子

防災・減災活動や避難所運営、さまざまな場面で、自分の気持ちを上手に伝えるヒントを学びます。ロールプレイを通して、アサーティブな伝え方を体験します。

? アサーティブ・コミュニケーションとは
自分も相手も尊重した上で、誠実に、率直に、対等に、自分の要望や意見を相手に伝えるコミュニケーションです。

3. 世田谷区の防災の取り組みの現状

世田谷区危機管理部災害対策課 職員より
世田谷区の災害対策について

防災における“女性の視点”

災害発生時、避難所には乳幼児を抱えた母親や妊娠中の女性、介護の必要な高齢者、障がい者などさまざまな方が滞在することになります。



避難所運営をはじめ、平常時に地域の防災を考えるうえで必要なのが**多様性に配慮した女性の視点**です。



会場には
災害時用トイレ
も展示します。

問い合わせ

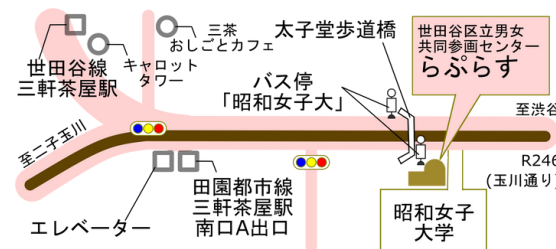
世田谷区立男女共同参画センターらぷらす

〒154-0004

世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3～5階

電話 03-6450-8510 FAX 03-6450-8511

らぷらすHP <http://www.laplace-setagaya.net>



【電車】東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩7分
【バス】東急バス・小田急バス「昭和女子大」下車
小田急バス（駒沢陸橋～北沢タウンホール）[三軒茶屋]下車
※駐輪場のご利用を希望される方は、らぷらすまでお問合せください